

## 1 活動名 避難所への公衆無線 LAN の整備及び消防防災センター視察（四国中央市）

### 2 調査の目的

#### (1) 本市における課題

指定避難所における通信手段として SNS が有効であることが分かっているが、wi-fi 設備は整っておらず、円滑な情報のやり取りが困難である。

災害時の拠点施設（指令センター）が市役所ということで、機能、設備、安全性から不安である。

#### (2) 調査の必要性

Wi-fi 環境の整備導入を行った自治体の状況を確認することは必要である。また、最近の防災センターの内容、稼働状況を視察することは本庁舎建設に当たり重要である。

#### (3) 調査項目

- ・避難所への公衆無線 LAN の導入について（導入経緯、課題等）
- ・消防防災センター視察（建設経緯、予算、利活用状況等）

### 3 調査地選定理由

四国中央市では、県の方針もあり公衆無線 LAN を避難所へ導入している。また、消防防災センターが 2015 年 4 月より供用開始されており、新しい設備、機能、利活用等の確認ができるため調査地として選定した。

### 4 調査結果

(1) 実施日 平成 29 年 5 月 15 日

(2) 出席者 3 名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

#### (3) 結果

愛媛県では softbank 社の申し入れにより、希望する市町村に対し避難所への公衆無線 LAN の導入を推進している。四国中央市においても、ハードは全額事業者の負担で行っている。現在、市内避難所 89 の内、41 箇所に導入済。災害時は Free wi-fi となる。

消防防災センターは最新の設備が導入されており、出動の時間短縮、災害時の指令センター機能が充実していた。市内公共施設としては初の免震構造が採用されていた。

#### (4) 成果・所感等

公衆無線 LAN を避難所へ導入することは重要と考えるが、通常時の必要性は高くないといえる。愛媛県のように事業者の提案があれば積極的に推進すべきだが、市が導入する際は十分な検討が必要である。消防防災センターについて、改めて、その必要性を強く感じた。理事者へも積極的な取組みを求めている。

### 5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 徳島市と同様